



この校章は、当時本校で教べんをとられていた鎌田の金成將義先生がデザインされたものです。昭和 25 年に神谷村が平市と合併して、神谷小学校から平第六小学校に改称、同 28 年に本校創立 80 周年記念事業として、校歌と校章が制定されました。校歌は、草野心平氏の作詞、校旗は当時校章がなかったためデザインを広く公募、この校章が採用されたのです。

金成先生によると、六小にちなみ、神谷の地で花びら六枚の花を探したが見つからず、中国の故事にある『螢雪の功』¹から、神秘的な六角の雪の結晶と螢をモチーフにデザインされ、また鎌田・塩・中神谷・上神谷・上片寄・下片寄の六つの大字の学び舎でもある六へのこだわりも内在してあります。

¹ 『螢雪の功』（けいせつのこう）…苦勞して學問に勵んだその成果のこと。中国、晋の時代、日が暮れた後も螢の光や窓の雪の反射光の明かりで勉強に勵んだという二人の青年の話をもとにした故事に由来。卒業式などで歌われる歌『螢の光』の歌詞にある「ほたるのひかり まどのゆき」や『仰げば尊し』の歌詞にある「ほたるのともしび つむしらゆき」もこの故事をもとにしたものと言われる。